

# Debug Solutions Power Debugger

Debug System for Boundary Scan Board

セットアップガイド

Debug Solutions

# Power Debugger

#### ご注意

1. このソフトウェアの著作権は、Debug Solutions社にあります。
  2. このソフトウェアおよびマニュアルの一部または全てを無断で使用、複製することはできません。
  3. ソフトウェアは、コンピュータ1台につき1セット購入が原則となっております。
  4. このソフトウェアおよびマニュアルは、本製品の使用許諾契約書のもとでのみ使用可能です。
  5. このソフトウェアおよびマニュアルを運用した結果の影響については、いっさい責任をおいかねますのでご了承ください。
-

# 目次

1. インストールの前に.....	1
2. セットアップの実行.....	2
2. 1 プログラムのセットアップ.....	2
2. 2 プリンタポートドライバのセットアップ (NT4. 0の場合).....	2
2. 3 プリンタポートドライバの再セットアップ (NT4. 0の場合).....	4
2. 4 プリンタポートドライバのセットアップ (WINDOWS2000の場合).....	6
2. 5 プリンタポートドライバの再セットアップ (WINDOWS2000の場合).....	18
3. POWER DEBUGGERの実行.....	21



## 1. インストールの前に

Power Debugger Ver1. x はWindows98, WindowsNT4. 0, Windows2000及びWindowsXPで動作します。インストールする前にオペレーティングシステムの種別を確認下さい。

Power Debugger Ver1. x のインストールに必要な条件

オペレーティングシステム	: Windows98 , WindowsNT4. 0 , Windows2000 , WindowsXP
インストールディレクトリ容量	: 20MByte
システムディレクトリ	: 2MByte
必要なメモリ容量	: ターゲットの環境によります。

Power Debugger Ver1. x はプリンタポートを用いてターゲットボードとインターフェースを行います。使用するオペレーティングシステムでプリンタポートを使用している場合は、競合を避けるために、プリンタポートを使用するドライバを無効にしてください。

オペレーティングシステムにWindowsNT4. 0及びWindows2000を使用している場合、セットアップの終了後、専用のプリンタポートアクセスドライバをインストールする必要があります。プリンタポートのリソース(I/Oアドレス)をあらかじめ調べておいて下さい。ドライバのセットアップで設定する必要があります。

**注意: デバイスドライバのインストールを行う為、管理者権限が必要となります。インストールは管理者権限をもつユーザーIDを用いて行って下さい。**

## 2. セットアップの実行

### 2. 1 プログラムのセットアップ

**以前のバージョンのPowerDebuggerが既にインストールされている場合は、コントロールパネルの『プログラムの追加と削除』で既にインストールされているPowerDebuggerを削除してください。**

1. コンピュータのCD-ROMドライブに Power Debugger Ver1. x CDを挿入するとPower Debuggerインストールウィザードが自動的に起動します。インストールウィザードが自動的に起動しない場合は、Power Debugger Ver1. x CDのルートディレクトリにあるSetup. exeを実行して下さい。
2. ウィザード情報画面で [次へ] をクリックします。
3. 次の画面で使用許諾契約書を読んでこれに同意した場合は [はい] をクリックします。
4. 次の画面でインストール先のフォルダを指定します。表示されているフォルダ以外の場所へインストールする場合は [参照] ボタンをクリックし、フォルダを選択します。
5. プログラムフォルダを選択します。新しいフォルダ名を入力するか、既存のフォルダリストから選択して下さい。[次へ] をクリックするとデータの転送が開始されます。
6. [完了] ボタンをクリックするとセットアップを終了します。

Windows98、WindowsXP にインストールを行なった場合は、Power Debuggerを使用する準備が整いました。3章 Power Debuggerの実行へすすんで下さい。

**注意: WindowsXPへの更新インストール時は、システムの再起動が必要となります。**

WindowsNT4. 0又はWindows2000にインストールを行なった場合は、引き続きプリンタポートドライバ(PDPortI/Oドライバ)のインストールを行なう必要があります。

### 2. 2 プリンタポートドライバのセットアップ (NT4. 0の場合)

WindowsNT4. 0でのプリンタポートドライバ(PDPortI/Oドライバ)のセットアップを以下に示します。プリンタポートのリソース(I/Oアドレス)をあらかじめ調べておいて下さい。(一般的なPCでは Bios 内で設定されず。)

1. [コントロールパネル] - [デバイス] で 『parrallel』 と 『parport』 デバイスの状態が開始になっている場合は、これらのデバイスを停止状態にします。(停止状態の場合は 4. に進みます。)



2. parallel デバイスを選択後、デバイスダイアログの[スタートアップ]ボタンをクリックし、[スタートアップの種類]で『手動』を選択します。parport デバイスも同様に『手動』を選択します

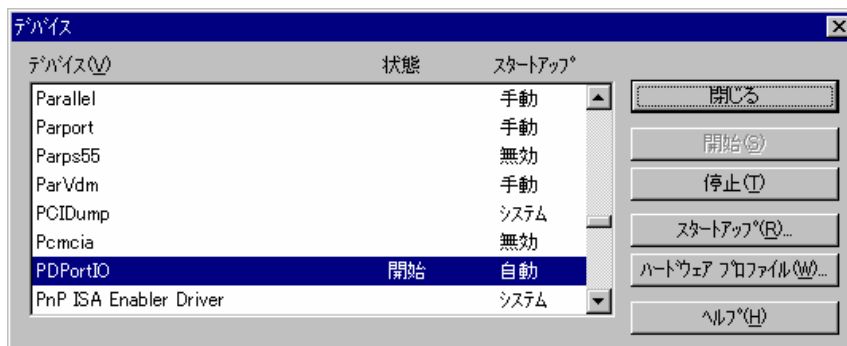


3. ホストマシンを再起動します。
4. [インストールフォルダ] - [PDportIO]のPDportIODライバセットアップを実行します。
5. PDportIODライバセットアップダイアログがオープンされます。ダイアログの中のパラレルポートベースアドレスを選択します。選択項目の中に入らない場合は直接アドレスを入力します。

## 第2章 セットアップの実行



6. [OK]をクリックするとリセットの要求ダイアログが現れます。システムの再起動を行なうことにより、PDportIOドライバが有効となります。
7. [コントロールパネル]－[デバイス]の PDPortIOデバイスが開始状態になっていれば、正常に動作しています。Power Debugger Ver1. x の使用が可能となります。



### 2. 3 プリンタポートドライバの再セットアップ (NT 4. 0の場合)

WindowsNT4. 0の環境でPCに既にPDPortIOドライバがインストールされている場合は、そのままPDportIOドライバセットアップを実行してください。新しいドライバが上書きされます。

1. ダウンロードしたZIPファイルを解凍プログラムを用いて、適当なディレクトリで解凍します。
2. インストールフォルダの Setup. exe を実行します。



3. PDportIODライバセットアップダイアログがオープンされます。ダイアログの中のパラレルポートベースアドレスを選択します。選択項目の中にある場合は直接アドレスを入力します。



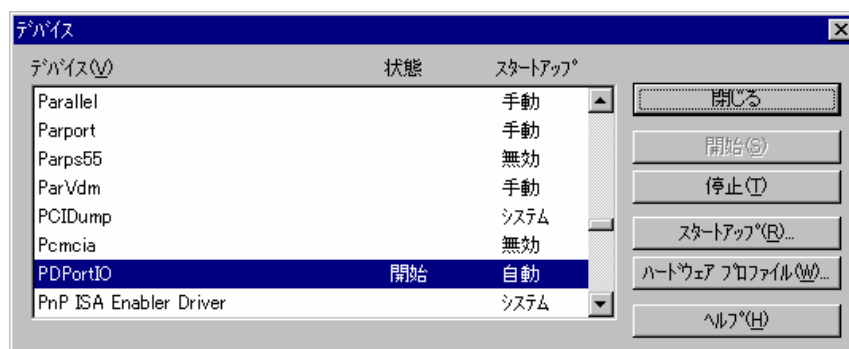
4. [OK]をクリックするとリセットの要求ダイアログが現れます。システムの再起動を行なうことにより、PD portIODドライバが有効となります。

~~~~~

5. ホストマシンを再起動します。

~~~~~

6. [コントロールパネル]—[デバイス]の PDPortIOデバイスが開始状態になっていれば、正常に動作しています。Power Debugger の使用が可能となります。



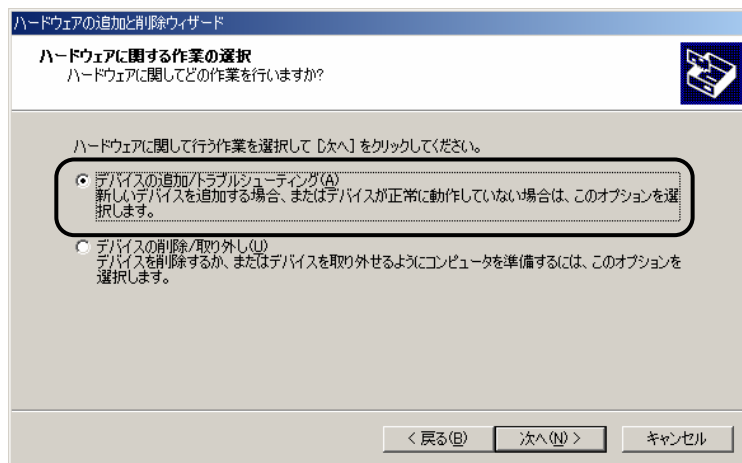
以上でPDPortIODライバの設定は完了です。

## 第2章 セットアップの実行

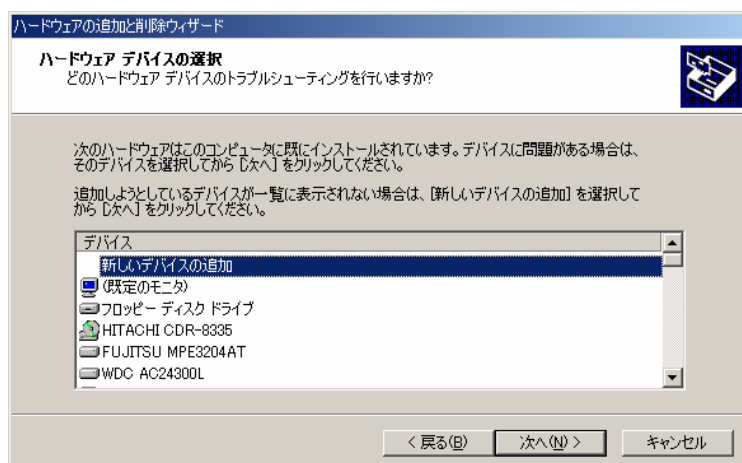
### 2. 4 プリンタポートドライバのセットアップ (Windows 2000の場合)

Windows2000の場合は、コントロールパネルの『ハードウェアの追加と削除』から設定を行います。

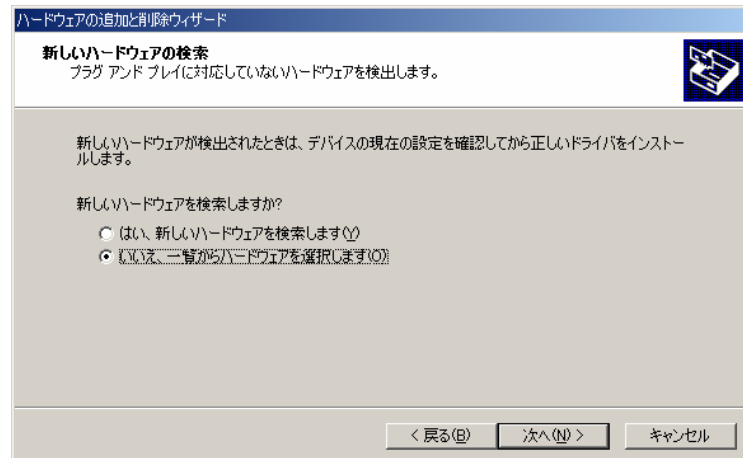
1. [スタート]－[設定]－[コントロールパネル]を開きます。
2. ハードウェアの追加と削除アイコンをクリックします。ハードウェアの追加と削除ウィザードが開始されます。  
[次へ(N) >] をクリックします。
3. ハードウェアに関する作業の選択 : 『デバイスの追加／トラブルシューティング(A)』を選択し、[次へ(N) >] をクリックします。(次の画面までしばらく時間がかかります。)



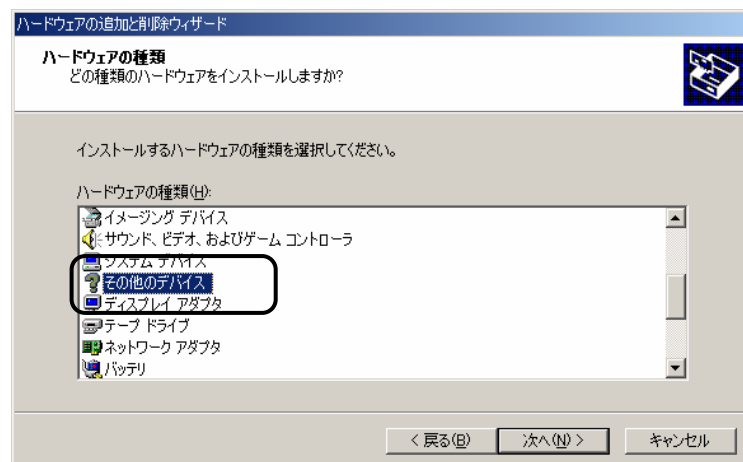
4. ハードウェアデバイスの選択 : 『新しいデバイスの追加』を選択し、[次へ(N) >] をクリックします。



5. 新しいハードウェアの検索 : 『いいえ。一覧からハードウェアを選択します。(O)』を選択し、[次へ(N) >] をクリックします。

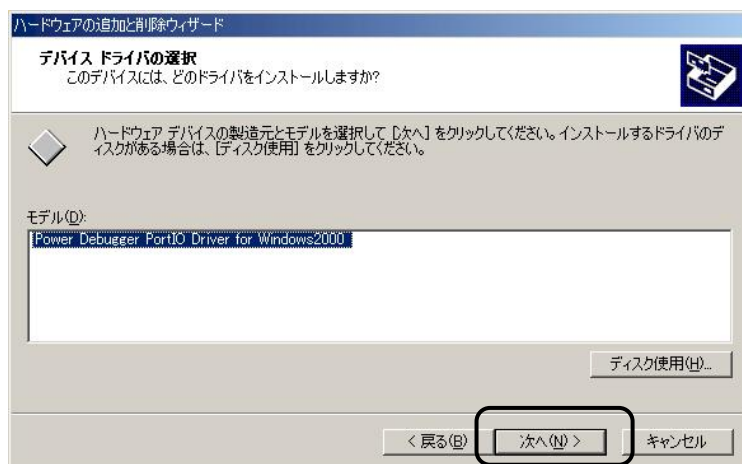
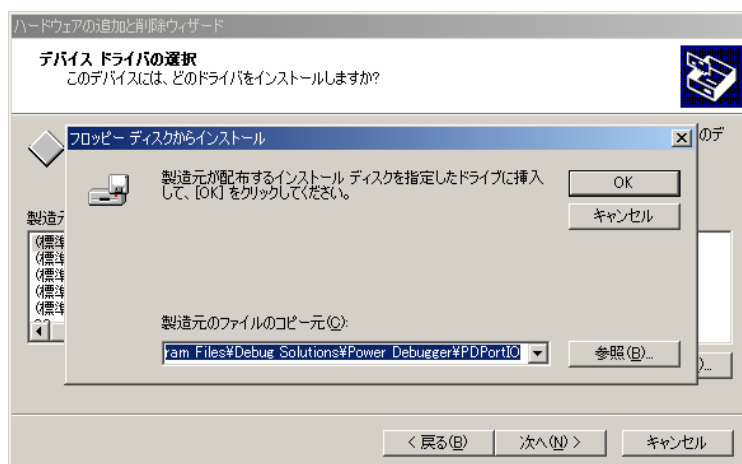
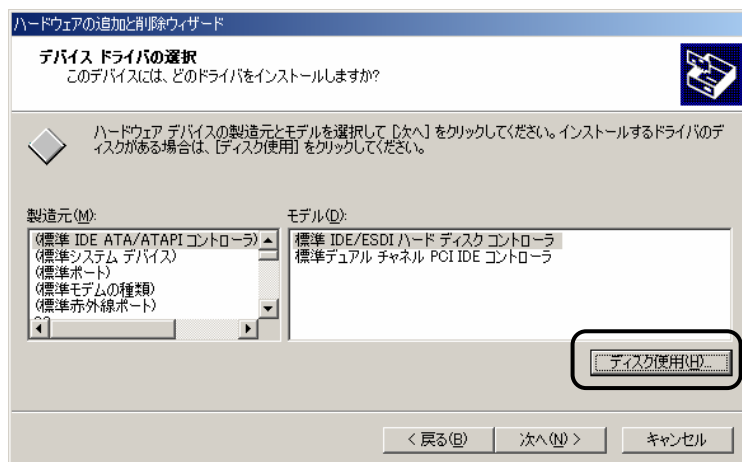


6. ハードウェアの種類 : 『?その他のデバイス』を選択し、[次へ(N) >] をクリックします。(次の画面までしばらく時間がかかります。)

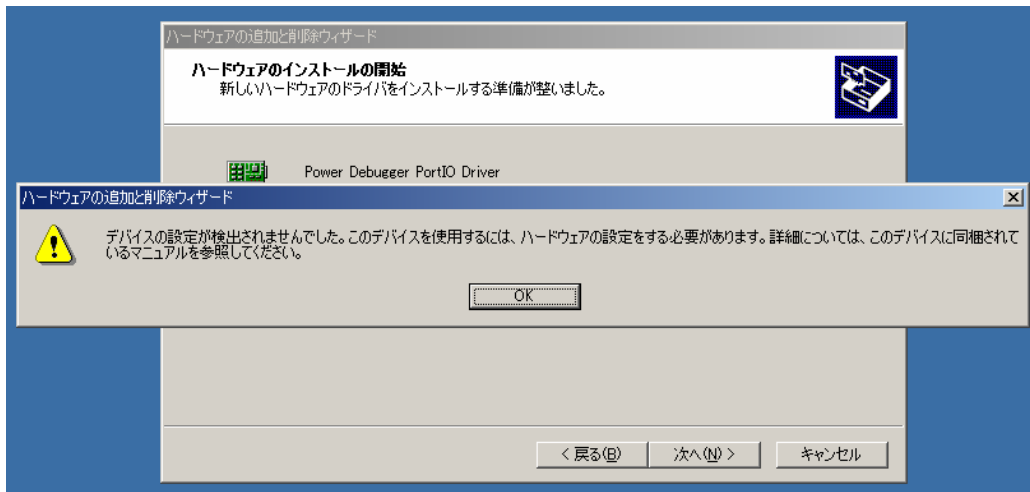


7. デバイスドライバの選択 : [ディスクの使用(H)...] をクリックし、インストールフォルダ下のPDPortI O2Kフォルダを選択します。Power Debugger PortIO Driverが表示されたら[次へ(N) >] をクリックします。

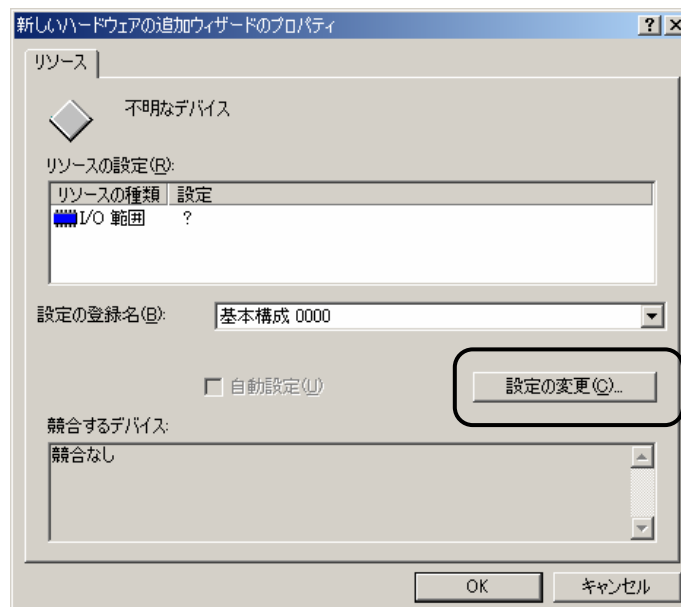
## 第2章 セットアップの実行



8. ハードウェアのインストールの開始 : ハードウェアの追加と削除ウィザードの『デバイスの設定が検出されませんでした。このデバイスを使用するには、ハードウェアの設定をする必要があります。詳細については、このデバイスに同梱されているマニュアルを参照してください。』のダイアログが表示されます。OKをクリックすると新しいハードウェアの追加ウィザードのプロパティダイアログが表示されます。



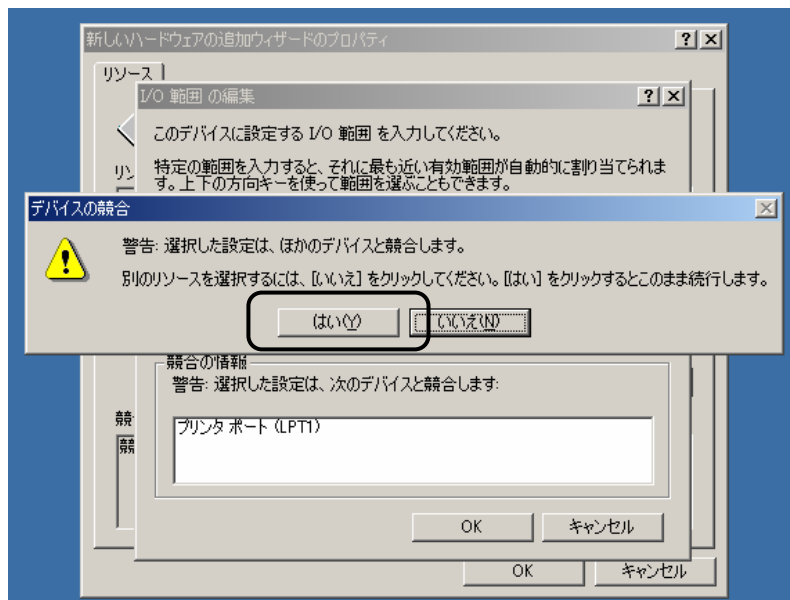
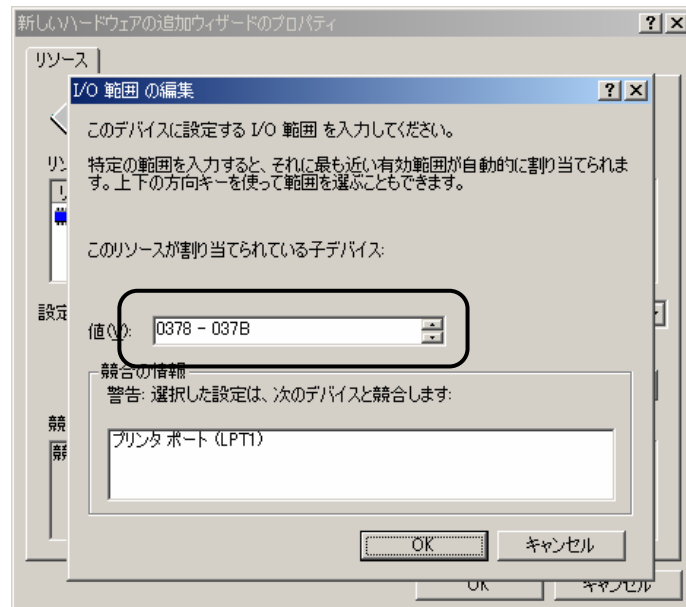
9. 新しいハードウェアの追加ウィザードのプロパティ  
リソースの設定に？が表示されるので、リソースの種類のI/O範囲を選択し、[設定の変更(C)...]をクリックします。



## 第2章 セットアップの実行

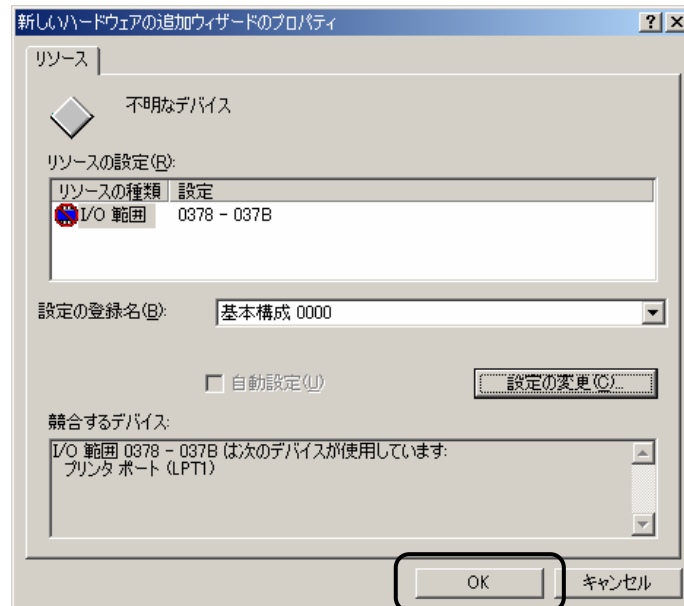
### 10. I/O範囲の編集

プリンタポートに割り当てているI/Oアドレス(Biosで設定されています)を入力します。値の範囲は4アドレスとなります。[OK] をクリックします。プリンタポートが設定されている場合、デバイスの競合を示すダイアログが表示されます。[[はい(Y)]]をクリックして次にすすみます。

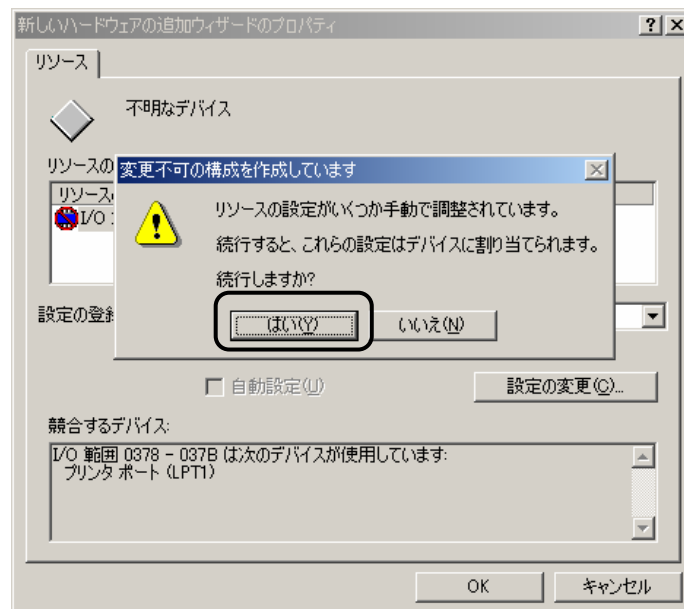


## 11. 新しいハードウェアの追加ウィザードのプロパティ

新しいハードウェアの追加ウィザードのプロパティダイアログに戻り、[OK]をクリックします。

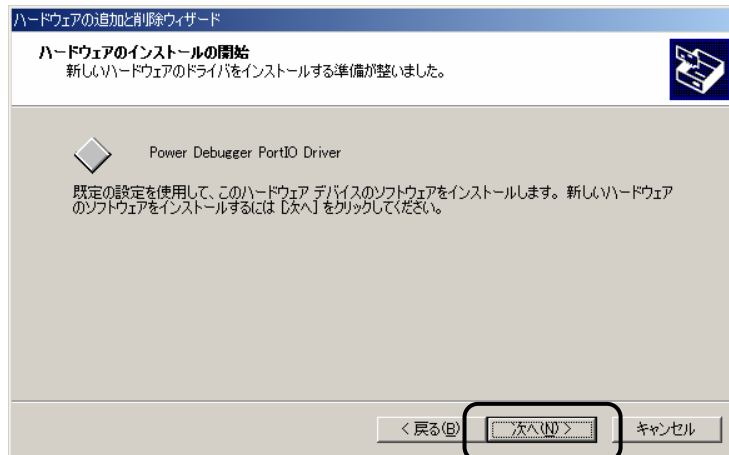


『変更不可の構成を作成しています』のダイアログが表示されるので [はい(Y)]をクリックして続行します。

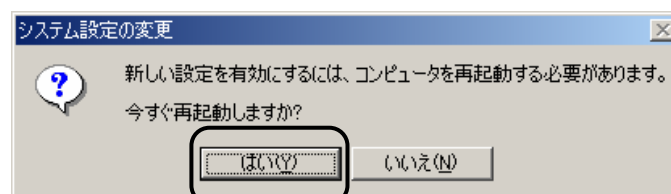
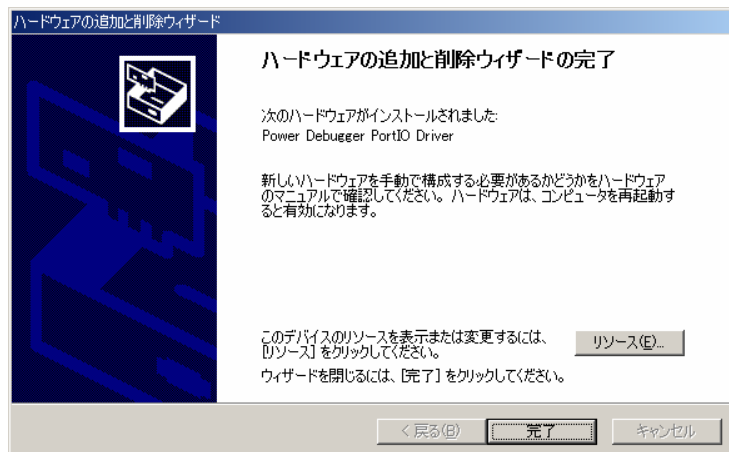


## 第2章 セットアップの実行

12. ハードウェアのインストール開始 : [次へ(N) >] をクリックします。

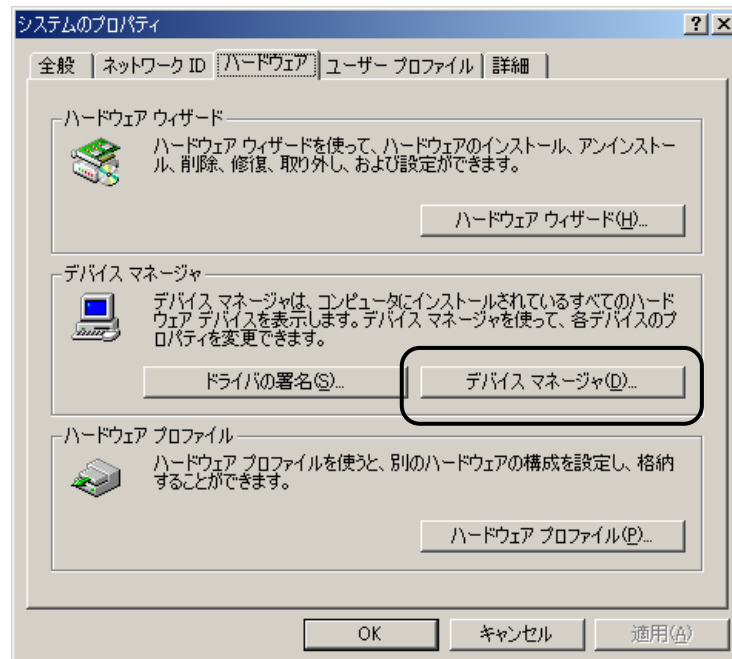


13. ハードウェアの追加と削除ウィザードの完了 : [完了] をクリックします。システム設定の変更ダイアログが表示され、再起動するかどうかを聞いてきます。『10. 1/O 範囲の編集』でデバイスの競合があった場合は、[いいえ(N)] をクリックして作業をすすめます。デバイスの競合がなかった場合は、再起動することでドライバが使用可能となります。

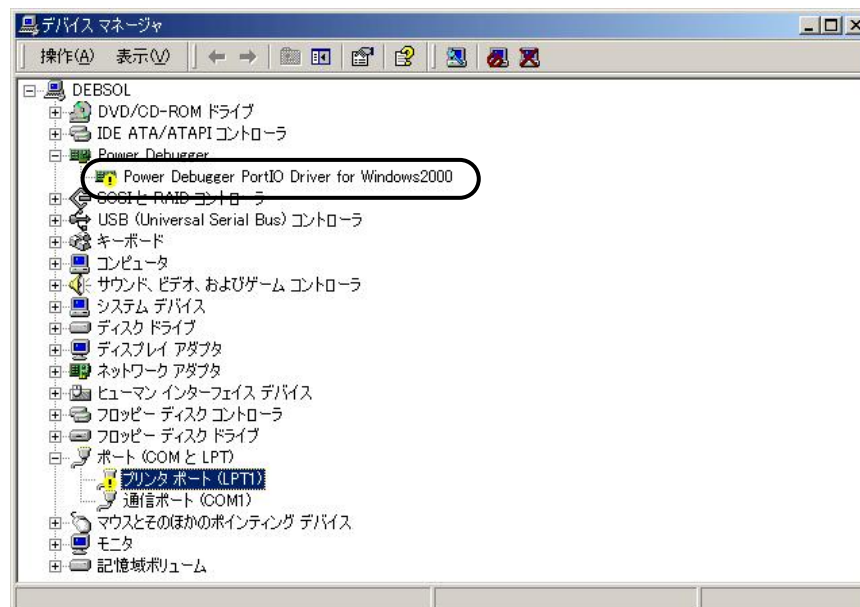




14. コントロールパネルのシステムアイコンをクリックしシステムのプロパティダイアログーハードウェアタブを開きます。[デバイスマネージャ(D)...] ボタンをクリックします。

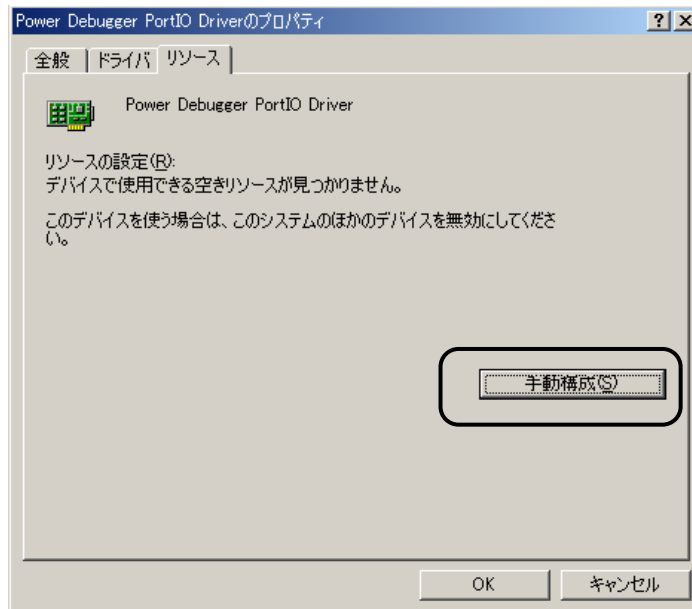


15. 『Power Debugger PortIO Driver for Windows2000』 をダブルクリックします。

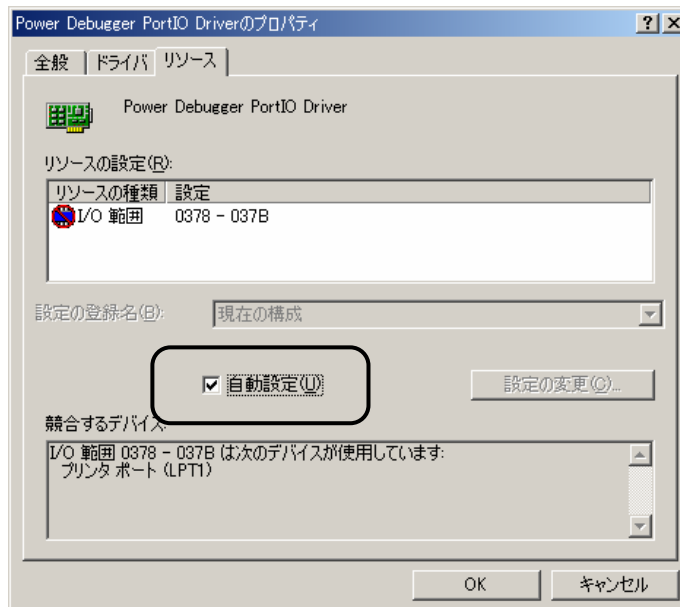


## 第2章 セットアップの実行

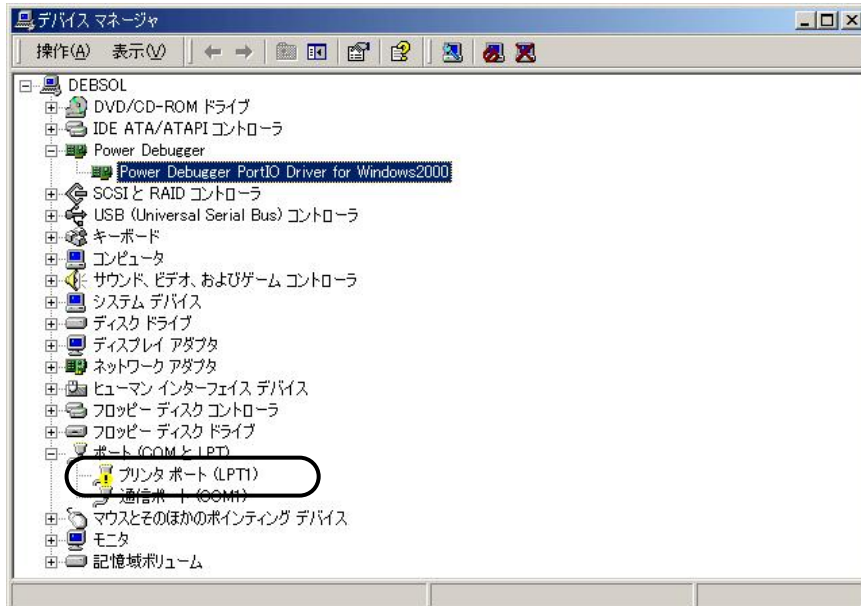
16. 『Power Debugger PortIO Driverのプロパティ』のリソースタブの中の[手動構成(S)]をクリックします。



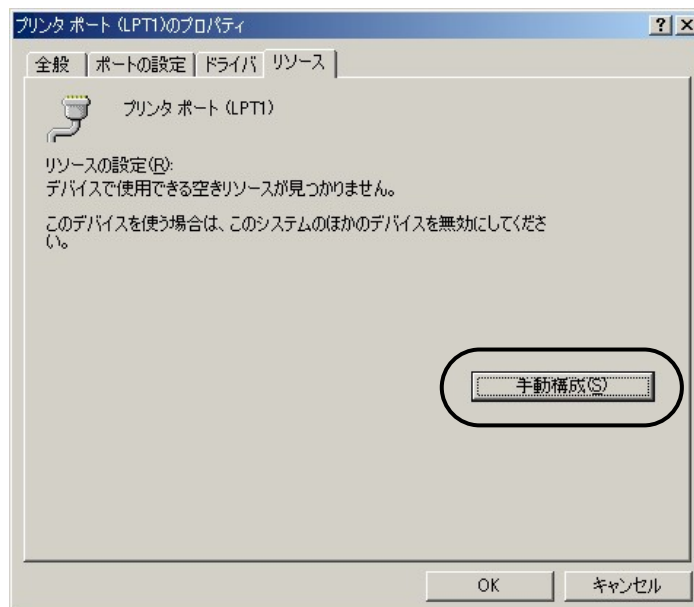
17. 自動設定のチェックボックスをチェックし、[OK]をクリックします。



18. 競合が発生している『プリンタポート(LPTx)』をダブルクリックします。

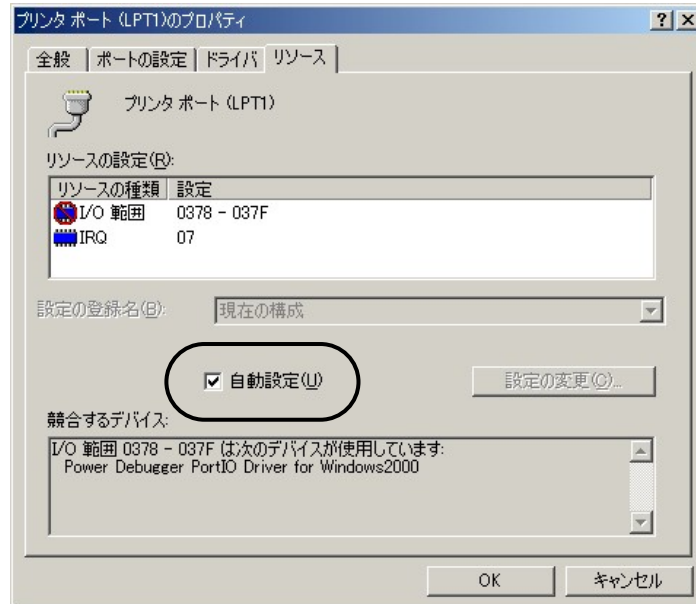


19. 『プリンタポート(LPTx)のプロパティ』ダイアログの『リソース』タブの中の[手動構成(S)]をクリックします。

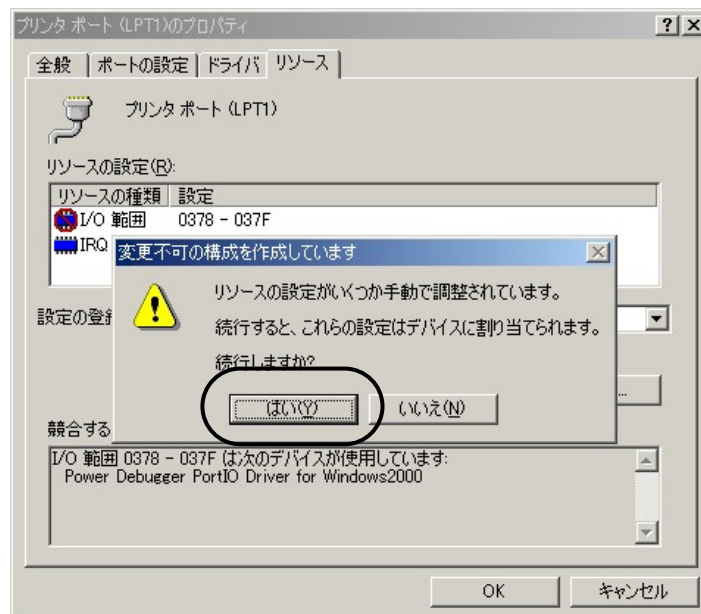


## 第2章 セットアップの実行

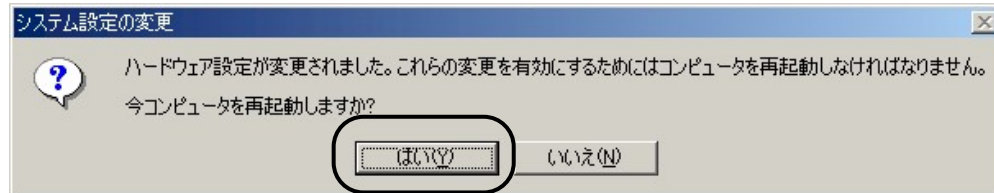
20. 自動設定のチェックをはずした後、『OK』ボタンをクリックします。



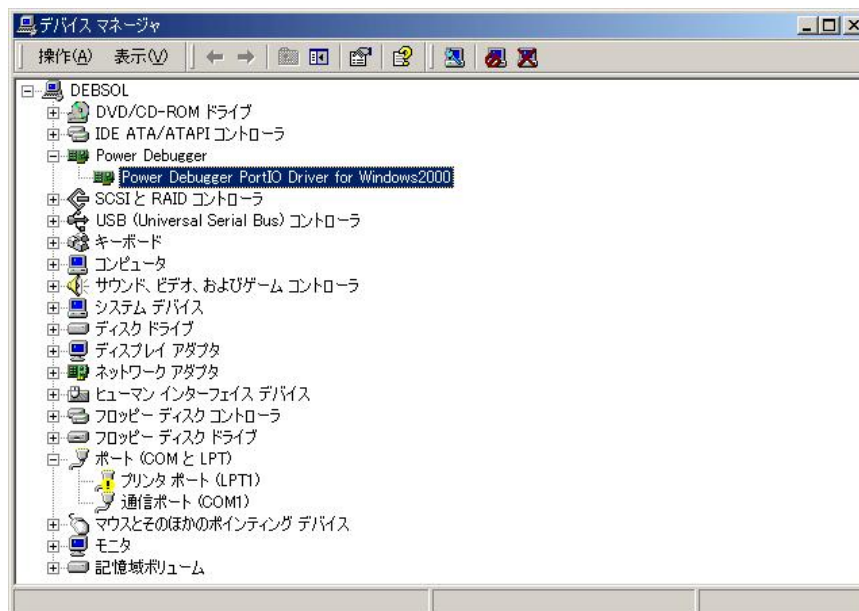
『変更不可の構成を作成しています』のダイアログが表示されるので [はい(Y)] をクリックして続行します。



21. 『システム設定の変更』のダイアログが表示されるので [はい(Y)]をクリックして再起動します。



22. コントロールパネルのシステムアイコンをクリックしシステムのプロパティダイアログのハードウェアタブを開きます。[デバイスマネージャ(D)...] ボタンをクリックします。『Power Debugger PortIO Driver』のデバイスの競合がなくなり、ドライバが使用可能となります。



※プリンタポートは競合が発生しているため、プリンタの使用はできません。PDA001を使用するLPTポートでプリンタを使用する場合は、『Power Debugger PortIO Driver for Windows2000』を無効にして下さい。

※一部のPCでは、プリンタポートドライバ(LPTx)を無効にすると、Power Debugger PortIO Driver が正常に動作しない場合があります。この場合、上図のように、プリンタポートドライバ(LPTx)を有効にし、デバイスの競合が発生している状態で、Power Debugger PortIO Driver を使用してください。

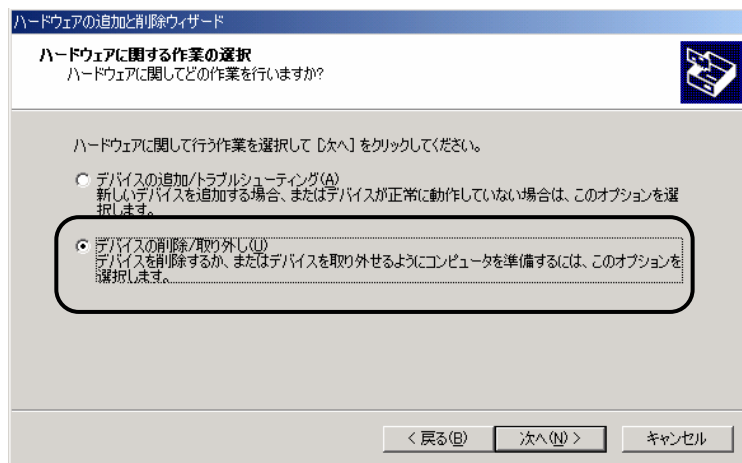
以上でPDPortIOドライバの設定は完了です。

## 第2章 セットアップの実行

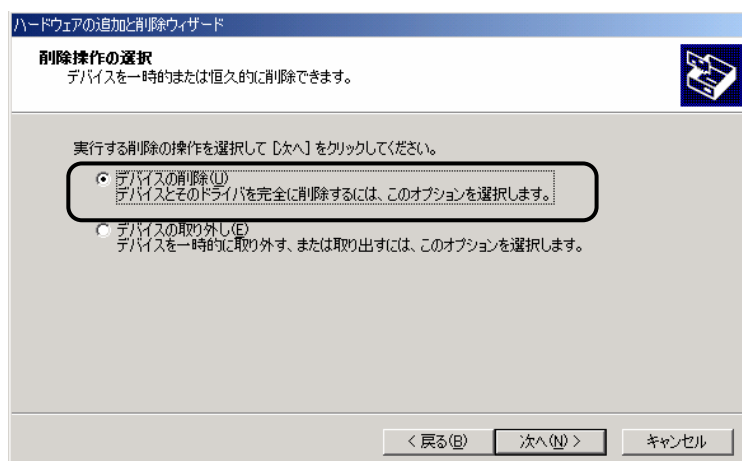
### 2. 5 プリンタポートドライバの再セットアップ (Windows 2000の場合)

Windows2000の場合は、コントロールパネルの『ハードウェアの追加と削除』から設定を行います。

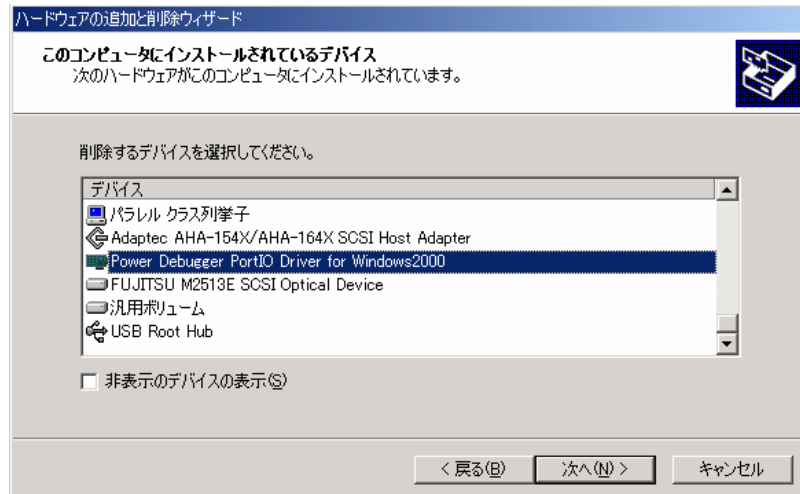
2. [スタート]－[設定]－[コントロールパネル]を開きます。
2. ハードウェアの追加と削除アイコンをクリックします。ハードウェアの追加と削除ウィザードが開始されます。  
[次へ(N) >] をクリックします。
3. ハードウェアに関する作業の選択 : 『デバイスの削除/取り外し(U)』を選択し, [次へ(N) >] をクリックします。



4. 削除操作の選択 : 『デバイスの削除(U)』を選択し, [次へ(N) >] をクリックします。



5. このコンピュータにインストールされているデバイスの選択 :  
『Power Debugger PDportIO Driver for Windows2000』を選択し、[次へ(N) >] をクリックします。

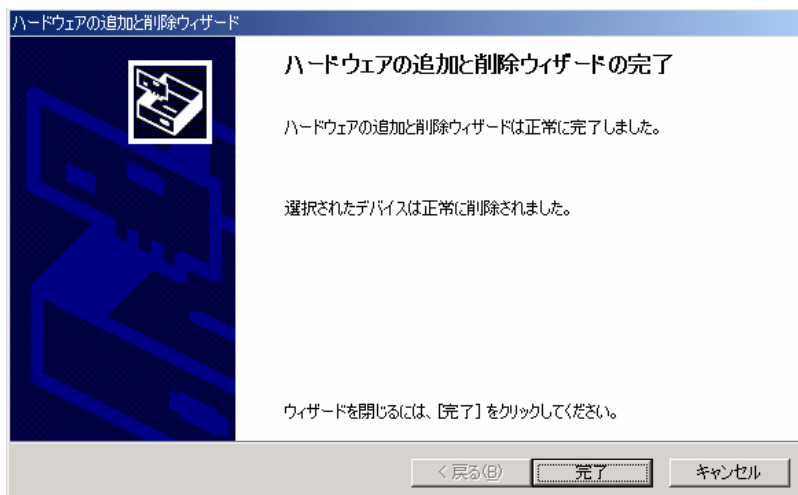


6. デバイスの削除 : 『はい、このデバイスを削除します(Y)』を選択し、[次へ(N) >] をクリックします。



## 第2章 セットアップの実行

7. ハードウェアの追加と削除ウィザードの完了ダイアログが表示されるので、[完了]をクリックします。



8. これで、ドライバの削除が完了しました。次に新規にPDPortIODライバをインストールします。新規PD PortIODライバをインストールは『2. 4 プリンタポートドライバのセットアップ (Windows2000の場合)』を参照下さい。



### 3. Power Debuggerの実行

[スタート]－[プログラム]－[Power Debugger]－Power Debugger を実行します。しばらくするとメインフレームウィンドウが開きます。最初の状態では、プロジェクトの新規作成、及びオープンはできません。[ヘルプ]－[シリアルナンバー]のダイアログを開き、シリアル番号と認証IDを入力して下さい。試供バージョンでの使用の場合はデフォルト値で[OK]ボタンをクリックして下さい。これでプロジェクトの作成が可能となります。

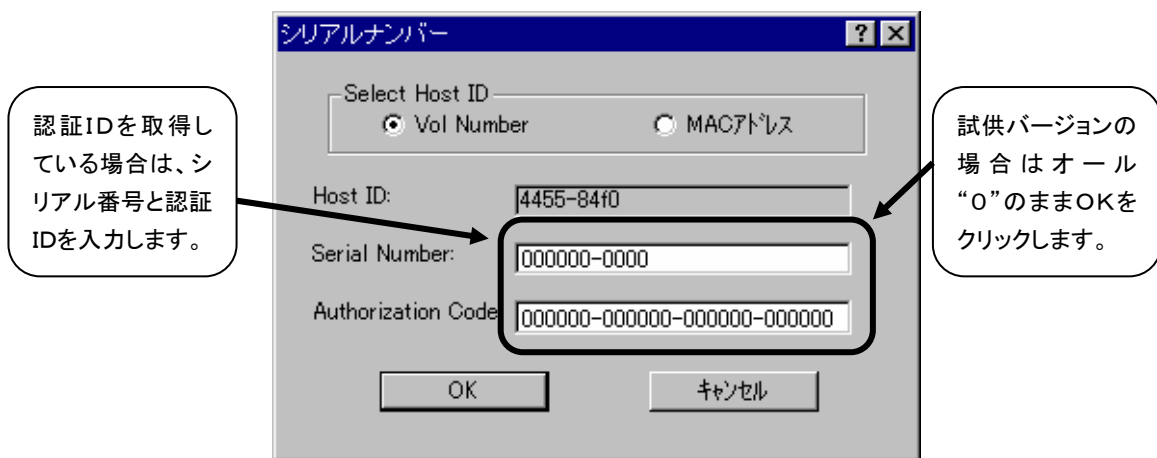


図3.1 シリアルナンバーダイアログ

### 第3章 Power Debuggerの実行

デバッグソリューションズがここで提供する情報は、正確かつ信頼できるものと考えておりますが、その使用に関する責務は一切負いません。ここに記載される情報は、2004年9月におけるものです。訂正、変更、改版に追従していない場合があります。最終的な確認はヘルプデスクにお問い合わせ下さい。

---

Web <http://www.debsol.com>  
E-Mail [mail@debsol.com](mailto:mail@debsol.com)

デバッグソリューションズ  
Debug Solutions